

低コスト化実験 条件付き成功！

H27年7月31日に第5回無電柱化低コスト手法技術検討委員会が開催されました！今回の議題は主に「アーク放電試験の実験結果」と「施工性確認試験の確認結果」、「浅層埋設にあたっての安全対策について」の3つでした。その中でも「アーク放電試験の実験結果」と「浅層埋設にあたっての安全対策について」を中心に報告します。

○「アーク放電試験の実験結果」

共通	離隔0cm		(参考)離隔10cm
	防護管なし	防護管あり	防護管なし/あり
<ul style="list-style-type: none"> 電気的特性に変化なし。 材料特性(外被引張り伸び)の変化なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信線の外被にアーク放電による溶融は発生なし。 通信線の外被にアーク放電による変色あり。 通信線(引込線)が衝撃により移動した事象あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信線の外被にアーク放電による溶融は発生なし。 防護管の外被に変色は見られたが、通信線の外被に変色なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信線の外被上にアーク放電による溶融は発生なし。 防護管の外被に変色は見られず、ケーブルについて外観上の変化なし。

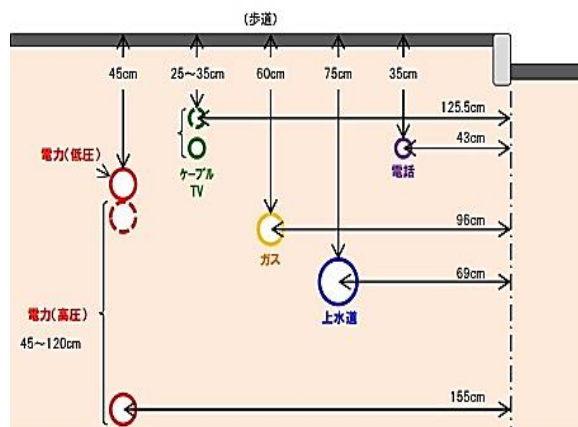
既存ケーブルで離隔0cmとする場合、これらリスクを回避するため難燃性の小径管(防護管)などの保護対策が必要と考える。

以上のことから、防護管等の保護対策の条件の下、電力ケーブルと通信ケーブルの離隔0cmでの敷設が可能。

☆10cmのみを離して実験するという慎重さと10cm違うだけでここまで差が出る事に驚きです。

○浅層埋設にあたっての安全対策について

現在、各占用物の電線の埋設位置は全国的にルール化されておらず、各地域で独自の規定を定めているところ。今後は各占用物の埋設位置をルール化する事で、埋設地域の統一化を図っていきます。右図のようにイギリスでは歩道地下における各埋設物の推奨位置がマニュアルに示されています。また日本では路面探査のため試掘という手法がとられていますが、それに代わる最新の技術が色々出てきています。例えば、「ケーブルロケーター」という通電媒体による磁界の変化を感知して埋設位置を把握する機器です。これは非金属管路及び金属管路に適用可能であり、深度の測定も可能です。



↑イギリスの埋設位置

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事等ありましたら info@nponpc.net までお送り下さい！
皆様のご意見、お待ちしております！tel:06-6381-4000 Fax: 06-6381-3999(※番号変わりました)

日本の空を、安全・安心で美しく！

美空 ~MISORA~

第83号

発行日:2015年8月25日(火)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

【活動報告】 ■理事会 7月29日(水)18時~COM計画研究所 20時~交流会

<技術開発委員会>伊津理事:先日の推進展においてポスター展示を実施。3日間で約3万人来場。ブースにも多数来場。技術的にもどうやったらいいのかわからない自治体の方が多数いたと聞いている。イトーヨーギョーのブースも盛況だった。タツタ電線さんの入会により電線についての技術的な話ができるようになった。直埋についての技術研究もできるようになる。
<世論形成委員会>今まで電柱・電線で商売してきた企業が危機感を持って推進展に来ていた。新商品開発などで新たな企業を開拓することも必要だと感じた。不動産ディベロッパーやURにも働きかけをする必要がある。そして、自民党に無電柱化法案を上手に利用して貰い、セミナーで無電柱化に携わる人、精通している人を集めて、会員を増やすことが大切だ。
<事業協力委員会>埼玉の無電柱化シンポジウムが延期で11月頃になる予定。小池先生・松原先生共著の『無電柱革命』出版。行政からの相談急増に対応するためのツールを作成する。長野県原村の方が来場、景観チラシを要望。白馬村の方来場、無散水の融雪パイプの入った無電柱化事例の模索。小方理事に依頼中。来場の横浜市のロームの方が個人賛助会員に入会。東電にも入会を依頼。上は無電柱化に理解が出てきているが、現場レベルではまだまだ理解が進んでいない。NTT 東日本が住宅開発地で同軸ケーブルをやめて光ケーブル1本で無電柱化をやりませんかと営業に来た。管路が1本減るのでコスト削減につながる。

■東京活動委員会 7月16日(木)17:30~理事会、19時~委員会

<理事会報告>合同理事会・総会・8周年セミナー報告、滋賀県近江八幡市相談案件、兵庫県雲雀丘花屋敷100周年委員会、HPからの書籍購入可能、自民党宮内先生面会(今後の動き)、小池先生・松原先生共著出版(7/15発売)、世界遺産無電柱化プロジェクト、11月10日無電柱の日プロジェクト、無電柱化推進法政党アンケート、建通新聞無電柱化企画・協賛)
<東京理事会>無電柱化推進展運営・当日段取り打ち合わせ 小方・前川理事
<東京活動委員会>無電柱化推進展運営 小方・前川理事
<話題提供>「無電柱化のランドスケープデザイン(フランスとモロッコ)」高山理事
<その他連絡事項>オブザーブ 露木氏 墨田区景観フォーラム 長野県原村訪問 清水氏



←理事会



→東京活動委員会

本邦初！無電柱化推進展開催！

大盛況で幕閉じる

7月22日(水)～24日(金)で東京ビックサイトにて第1回無電柱化推進展が開催され、3日間で約30,000人が来場しました。

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク理事兼事務局長である井上利一は、ブース内で随時、約10分間のミニセミナーを開講し、7月23日(木)12:20～13:20には「無電柱化の具体的コスト削減手法と戦略的活用について」の講演を行いました。そこで無電柱化の事例を取り組んで無電柱化をすることでのメリットを伝えました。その講演について一部を報告したいと思います。



↑お手伝いいただいたみなさんと

★なぜ無電柱化は難しいか

無電柱化を阻害する5つの要因として、「電線管理者との調整が難しい」「国、自治体の支援が弱い」「住民との合意形成」「技術的」「コストが高くつく」があります。そしてその5つの要因が複雑に絡まり合っています。またどれか一つが問題となった場合でも無電柱化を挫折する要因となります。

そのためにも、まず無電柱化をすると決めることが大切です。無電柱化するかどうかを決めていないと、一つの要因で挫折しやすくなるからです。

★過去の事例での成功例

コスト削減の事例として、岐阜県にある株式会社全農林さんでは、災害に強い安心安全なまちづくりをするために無電柱化をしました。社長が積極的な方であったという理由もあり、当初の費用の2/3削減することができました。コスト削減具体例として、「電力の自由化」「道路の一部を浅く埋設する」「私道に埋設」があります。

また、戦略的活用事例として、ペンブローグリアルエステートさんでは「幅員が狭い(5m)」「歩道がない」「地上のトランスが置けない」「電線共同溝方式といったスタンダードなルールに則ってできない」といった問題点がありながら、「公道で無電柱化」「不動産の価値を上げる」「地域の活性化」を目指し、無電柱化を企画しました。その後、港区も協力して無電柱化が実施されました。

伊勢のおはらい町では住民と企業と行政が三位一体で無電柱化を行いました。それにより来客数が、18倍になり今では32倍とさらに活性化しています。

福知山市の商店街では無電柱化勉強会を4回行うことで住民の不安を解消しました。そのため前会一致で無電柱化をすることになりました。

箕面市では無電柱化をするにあたって、当初の費用から3分の1でできました。また住民にも反響があり、隣町から引っ越ししたというエピソードもあります。

そのほかにも多くの事例をあげて無電柱化のメリットを説明していました。

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！

ぜひこちらも登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>



★まとめ

無電柱化はまだあまり普及していないため、不動産やディベロッパーは今やればトップランナーになれます。顧客の拡大になり、効果的に自社の戦略になります。それは行政でもいえることです。行政は「民間の活力を活用する」「積極的に無電柱化すると地域の活性化になる」「ブランドイメージの向上」がメリットとして上げられます。無電柱化のトップランナーになるためにも今のうちから行動を起こすことが大切です。

無電柱化の7つのメリットとして、

- ・オリジナリティのある道路設計が可能
- ・資産価値を高める(約+7%)
- ・災害に強い安心・安全な街
- ・お客様への景観の訴求効果
- ・ブランドイメージの向上
- ・通行・駐車しやすい
- ・鳥のフン害が減らせる

が挙げられます。つまり無電柱化を付加価値の高いメニューとして、経営に位置付けることで競争優位に立つことが出来ます。以上です。

その他にも、下記のセミナーが開催され満員の盛況でした。

◎7/22(水) 基調講演：無電柱化推進法施行後の展望

講師：小池百合子氏

衆議院議員 自由民主党無電柱化小委員会 委員長

◎7/23(木) 基調講演：何故、無電柱化が必要か-電線の無い街がもたらすもの

講師：松原隆一郎氏

東京大学大学院総合文化研究科 国際社会科学専攻 教授
無電柱化民間プロジェクト実行委員会 幹事長

◎7/24(金) 基調講演：無電柱化の省コスト技術に関して

講師：秋葉正一氏

日本大学生産工学部土木工学科 教授
無電柱化低コスト手法技術検討委員会 委員長

その他多数の講演会が開催されました。

また、無電柱化推進展は2016年7月20日～22日に第2回が開催される予定です。詳しくはこちらをご覧ください。→ <http://www.jma.or.jp/no-denchu/>

日本の電柱の現状について感じる事を1500字程度で書いてお送り下さい、掲載させていただきます。自己紹介(お仕事、住所等)と顔写真を添えて下さい。お待ちしております！事務局

最新情報はHPで <http://nponpc.net/> フェイスブック <http://www.facebook.com/NPONPC>